



2014年5月14日

スバル新型 WRX、WRX STI が米国 IIHS の 2014 年安全評価で 「トップセイフティピック(TSP)」を受賞

- 全試験項目(前・側・後面衝突、ロールオーバー、スモールオーバーラップ試験)において最高評価「Good」を獲得

このたび、北米地区で現在販売しているスバルの 2015 年型 WRX、WRX STI が、IIHS^{*1}(道路安全保険協会)が行う最新の 2014 年の安全性評価において、「トップセイフティピック」を受賞しました。この他のスバル車については、レガシィ^{*2}、アウトバック^{*2}、インプレッサ^{*2}、SUBARU XV クロストレック^{*3}、フォレスター^{*4}が既に「トップセイフティピック」を獲得しています。

WRX シリーズは、スバル独自の水平対向ターボエンジンを核とするシンメトリカル AWD システムを搭載した、スバルの AWD スポーツパフォーマンスを象徴するモデルです。1992 年の初代モデル誕生以来、実用的な 4 ドアセダンでありながら、圧倒的なスポーツ性能を兼ね備えた個性的なスポーツセダンとして、世界中のスポーツカーファンから支持を得てきました。

「トップセイフティピック」を受賞するには前・側・後面衝突、そしてロールオーバー(車両転覆)時の安全評価すべてにおいて最良の乗客保護性能を持ち合わせたクルマとして、最高の「Good」を獲得するとともに、2012 年に導入されたスモールオーバーラップ試験においても「Good」または「Acceptable」を獲得する必要があります。スモールオーバーラップ試験は、車両の前面コーナー同士の衝突や、車両の前面コーナーと電柱等、前方にある物体との衝突を想定した非常に厳しい衝突試験です。この試験では、車両前面の運転席側 25%に渡る範囲を高さ 5 フィート(約 1.5 メートル)の衝突試験用バリアに時速 40 マイル(約 64 キロメートル)で衝突させます。2015 年型 WRX、WRX STI は、これら 5 つの安全性評価項目において最高評価「Good」を獲得しました。

富士重工業は、ブランドステートメントである“Confidence in Motion”を通じて、スバルならではの「安心と愉しさ」の提案を掲げています。この「安心と愉しさ」を支える重要な要素である「安全」を、ALL-AROUND SAFETY の考え方の基に、アクティブセイフティ、パッシブセイフティ、プリクラッシュセイフティの各技術進化により実現していきます。

*1 Insurance Institute for Highway Safety: 米国保険業界の非営利団体

*2 2014 年型

*3 日本名: SUBARU XV、2014 年型

*4 2014 年型、2015 年型